

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 28 年度 第 2 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 9 月 16 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：兼子、浅野、帖佐、佐藤、清水、高崎、乙訓、高木

欠席者：棚村、柴

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

1) 日臨技より資料の送付(H28/9/1)があった。内訳は以下の通りである。

1. 会費の送金について…平成 28 年度会費 10,000 円×2 名
送金合計額 20,000 円

2. 検体採取に関する厚生労働省指定講習会の受講率促進へのお願い

平成 28 年 7 月 12 日現在

岐阜県会員 修了者合計 513 名 修了率 62.2%

全国会員 修了者合計 24374 名 修了率 41.6%

3. 全国役員名簿は個人情報により事務で保管してあります。(高木庶務部長)

検体採取の講習会は来年度名古屋市で予定されているが具体的な期日はまだ決まっていない。期日が分かり次第連絡したいと思います。(兼子議長)

岐阜県は終了率が高いようですが。(佐藤部長)

北陸や静岡など講習会が開催されていない県では首都圏まで行かなくてはならない。いずれ近県でも講習会が開催されるのではないかと考え受講を控えていたと思われ、今後、終了率も増加してくると考えられる。(兼子議長)

2) 岐臨技ホームページバナー広告への申込についての報告があった。(H28/9/7)

9 月現在で 2 社より申込書が届いた。(ラジオメーター (株)・積水メディカル (株))
(高木庶務部長)

3) 賛助会員の List についての報告があった。

6 月 30 日までに 25 社から入金があった。(高木庶務部長)

4) 一般財団法人 岐阜県社会保険協会より「社会保険協会への加入のご案内」についての資料の送付があった。(高木庶務部長)

加入しないということで本常務理事会にて承認を得た。

高木部長より岐阜地区からの報告があった。

岐阜市民健康まつりは 11 月 6 日（日）に開催される。今のところ準備は順調に進んでいる。(高木部長)

スタッフは集まりましたか。(兼子議長)

9月末が締め切りで今のところ10名程度の参加者Listが事務所に届いている。スタッフは40名ほど予定している。(高木部長)

スタッフの40名は十分な数だと思いますので、召集についてはあまり無理しないようにお願いします。(兼子議長)

帖佐部長より学術部からの報告があった。

平成28年度第55回日臨技中部圏支部医学検査学会より座長推薦の依頼があった。

チーム医療部門は森さゆりさん(岐阜中央病院)、一般部門は松波敏彦さん(岐阜県立多治見病院)、血液部門は山本将毅さん(土岐市立総合病院)、生理部門は中島直美さん(大垣市民病院)、病理部門は日高祐二さん(東海中央病院)、免疫血清部門は石田秀和さん(岐阜大学病院)、微生物部門は八島繁子さん(岐阜県立多治見病院)にお願いした。(帖佐部長)

以上座長推薦について本常務理事会で承認した。

帖佐部長より生物化学分析部門実技研修会についての報告があった。

生物化学分析部門研修会の日時は平成28年11月27日(日)10時から16時。

場所は岐阜医療科学大学実習室。内容は実技講習「ELISAを通して学ぶ免疫検査の正体」(ランチョンセミナー付き)。講師はオーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社臨床化学/免疫学術部門 藤原 稔也先生ほか岐臨技 生物化学分析部門員。参加申込数は運営の都合上、先着40名とする。

参加費は岐臨技会員が1,000円、非会員が2,000円を研修費として徴収する。

予算書を確認したところ黒字になっていたので常務理事会で承認をいただきたい。(帖佐部長)

以上生物化学分析部門研修会の開催を本常務理事会で承認した。

帖佐部長より臨床生理部門(神経生理分野)研修会における外部講師依頼についての報告があった。

外部講師を名古屋市立大学病院の水野久美子先生に依頼した。

水野先生は中部地区では神経生理分野、特に脳波検査に関しては第一人者で日臨技の全国研修会、神経生理検査研究会、日本臨床神経生理学会など多くの講演をされています。また、日臨技から出版されたJAMT技術教本シリーズの神経生理教本・症例集の筆者でもあります。先生の豊富なてんかん症例を多く提示していただき、発作時の脳波が正しく撮れるように講演していただく予定である。(帖佐部長)

以上臨床生理部門外部講師依頼について本常務理事会で承認した。

水野先生の講師料は岐臨技の規定により1万円よろしいか。(帖佐部長)

本常務理事会において講師料は岐臨技の規定どおり 1 万円で承認した。

帖佐部長より輸血細胞実技研修会についての報告があった。

輸血細胞実技研修会は学生 15 名の参加を予定しているが助成金が含まれず、また試薬代も高く、また企画書(案)では参加費が今年度は 3,000 円となっており例年と比べ 1,000 円少ないため赤字額が増えると予想される。

参加費を上げたほうが良いのでは。またスタッフが 10 名となっていたので 6、7 名に変更するようお願いしたいと思う。(帖佐部長)

この研修会は毎年実施されており去年の実績を参考にして、参加費は例年と同じ金額にしてはどうか。(浅野理事)

昨年度も赤字であったという記憶がある。(兼子議長)

参加費は例年と同様、4,000 円とすることで本常務理事会の承認を得た。

警備費は土曜日が開催日であるため費用としては掛からない。(帖佐部長)

試薬数の準備もありますので学生の参加定員数をきめた方がよいのでは。(高崎部長)

学生の定員数は 10 名とすることで本常務理事会にて承認した。

以上輸血細胞実技研修会の開催を本常務理事会で承認した。

帖佐部長より助成金が申請できる日臨技推進授業についての報告があった。

日臨技推進事業として助成金を受けている岐臨技活動は 9 月 13 日現在で 10 件である。

今のところ平成 28 年度第 2 回臨床血液部門研修会 (2016/05/22)、平成 28 年度岐阜県臨床検査技師会新人サポート研修会 (2016/05/29)、平成 28 年度春季拡大研修会 (2016/06/05)、初級者向け尿沈渣講義&実習 (2016/06/12)、平成 28 年度病理細胞診部門研修会 (2016/07/02)、岐臨技生物化学分析部門研修会 (2016/07/10)、第 1 回中部圏認定病理検査技師企画病理技術研修会 (2016/07/16)、第 4 回岐臨技臨床血液部門研修会 (2016/09/10)、染色体遺伝子・臨床微生物部門合同研修会 (2016/09/24)、平成 28 年度第 2 回岐臨技生物化学分析部門研修会 (2016/11/27) となっている。(帖佐部長)

今後の岐臨技活動は生理部門研修会、輸血細胞治療部門研修会、秋季拡大研修会、県学会があり日臨技推進事業としての助成金を申請する予定である。(帖佐部長)

岐阜県医学検査学会は学会のため助成がないと思います。精度管理報告会は助成金が出ます。(兼子議長)

一般部門は企画書がまだ 1 回目しか届いていないようですが。(帖佐部長)

一般部門研修会は 10 月 23 日に第 2 回を実施すると聞いています。提出されていないようであれば確認します。(兼子議長)

以上助成金が申請できる日臨技推進授業について本常務理事会で承認した。

佐藤部長より精度管理部からの報告があった。

平成 28 年度精度管理調査参加状況は昨年度が 72 施設であったが、今年度は 78 施設(医療施設 56、その他 22 施設)に増加した。

今後の予定として 9 月 26 日に集計作業を締め切り、9 月下旬から 10 月初旬に一次報告を行う予定である。その結果 10 月中旬に C,D 評価施設より 2 次サーベイの参加確認を取り 10 月中旬に資料を送付し、対象施設で 2 次サーベイの実施と是正報告書を提出していただく予定である。(佐藤部長)

これについては例年、C・D の施設が 2 次サーベイを実施すると A 評価に変わる場合があり、1 次サーベイで B 評価を得た施設と上下が入れ替わることが問題視されている。(佐藤部長)

10 月 24 日と 25 日の再入力期間を得て 10 月 28 日に第 3 回会議で最終評価を行う。その後平成 29 年 1 月 22 日に報告会の資料を締め切り、平成 29 年 1 月 23 日に報告会の資料を公開する。(佐藤部長)

今年度は HBA1c の資料についての問題は発生しなかった。また一部フォトサーベイの解答欄に不備があり訂正を行った。

精度管理報告会は平成 29 年 1 月 29 日(日)、会場は東海中央病院、特別講演は岐阜大学医学部付属病院の古田信行先生にお願いした。講演内容は「共用基準範囲について」である。(佐藤部長)

2 次サーベイで使う資料は 1 次サーベイと同じものか。(帖佐部長)

資料は同じものを使用する。設問は新しく作る。(佐藤部長)

古田信行先生への謝礼は講演時間が 1 時間以内ですので 2,000 円でよろしいか。(佐藤部長)

精度管理に関しては部門研修会の規定外であり岐臨技事業であるため常務理事会で講師料を決めていただければよろしいかとおもう。(浅野理事)

精度管理報告会は部門研修会ではなく、特別講演として講師料 10,000 円支払うことで本常務理事会にて承認した。

一次報告の時に平均値も公表しますか。(兼子議長)

測定値・評価・SD のみを報告する予定です。平均値については改めてスタッフに確認します。(佐藤部長)

以上精度管理事業における企画内容について本常務理事会で承認を得た。

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成 28 年度「検査と健康展」に関する予算案の説明があった。

日時は平成 28 年 11 月 20 日(日曜日)、9 時～17 時の予定。会場はアルプラザ鶴見(大垣市鶴見町)、場所は 1 階ドラックストア前の開きスペースを使用。(清水部長)

予算案の内訳は、会場費(30,000 円)、診療所開設申請(18,000 円)、衝立 30 枚(75,000 円)、机 11 脚(16,500 円)、椅子 65 脚(各ブース 55 脚+待ち椅子 10 脚)(19,500 円)、

ダイナパルス 2 台 (32,400 円)、ビーナス 1 台 (22,550 円)、病理部門顕微鏡 5 台 (36,000 円)、病理部門モニター 2 台 (46,000 円)、人件費 45 名 (150,000 円)、レンタル配送設営費 (35,000 円)、八神製作所 (顕微鏡・モニター運搬費) (6,240 円)、アミラーゼモニター用カセット (18,000 円)、合計額 505,190 円となった。

50 万円を超えた分に関しては岐臨技から補助金を出していただきたい。

衝立は今年度一枚 (2500 円) の中古品を 30 枚借りる予定であるが足りない場合一枚 (4,000 円) の衝立を借りることになり、その場合支出予算額が増える。(清水部長)

予算案として今年度人件費 150,000 円を日臨技に報告したいと思う。(清水部長)

モニターのリース料が高いようですが、もしモニターが借りられるなら連絡します。(浅野理事)

医師への謝礼はどうなっていますか。(佐藤理事)

臨床検査専門医会からの派遣となり、謝礼・交通費は必要ありません。(兼子議長)

以上「検査と健康展」の予算案について本常務理事会で承認した。

平成 28 年度「検査と健康展」の企画内容について報告があった。

生化学分析部門は唾液を使ったストレスチェックとパネル展示 (メタボとは)、臨床生理部門は超音波でからだの中を見てみよう、臨床一般部門は模擬尿による尿検査の実施、臨床血液部門は貧血の検査と血球の説明 (パネル展示)、病理細胞部門は口腔内の細胞観察、臨床微生物部門は手洗いチェック、輸血細胞治療部門は輸血と血液型 (パネル展示)、臨床総合部門は健康相談コーナー。

その他、健康チェックとして (血管年齢・骨密度測定) を行う予定である。

以上「検査と健康展」の企画内容について本常務理事会で承認を得た。

清水部長より会場設営の案について説明があった。

今回与えられたスペースは横幅 22 メートル・奥行 5 メートルの細長い長方形のスペースである。奥の壁以外は 3 方向すべて通路となっている。

会場に向かって右側の後方に店舗出入口がある。奥の壁に沿って各検査コーナーの机を置き後ろの壁に衝立を設置しパネルを展示したい。

医師が 2 名派遣されるため右側に医師相談コーナーを 2 か所用意した。その左側に健康相談コーナーを並べて設け、そちらから医師相談コーナーへ移動して頂く予定である。

狭いスペースのため入口は決めずオープンで行きたい。会場に向かって左側にある検査コーナーから入って頂き右側の医師相談コーナーへ廻って退出してもらおう流れとなる。

(清水部長)

右側に店舗出入口があるので右側の医師相談コーナーを健康展の入口にしてはどうか。そうするとうまく呼び込めると思う。それとオープンであれば近い方から入ってこられる方が多いと思う。(浅野理事)

テナントの場所が2階に変わる可能性はあるか。(浅野理事)

10月までに連絡がなければ変更はない。(清水部長)

パネル展示の手前に各検査コーナーのテーブルを置きそこで検査を行うのか。(帖佐部長)

その予定でいる。(清水部長)

左側の骨密度・血管年齢のコーナーが縦に並んで配置されているため、奥にある生物分析の待ちスペースが狭くなっている。混雑した場合どのように対応すればいいか。(高崎部長)

骨密度と血管年齢は特に混雑が予想されるので他のコーナーに影響が出ないように配置を変えたいと思う。(清水部長)

左通路側にパネルを置いて壁替わりにしてはどうか。(浅野理事)

衝立の形状にもよるが、以前子供が遊んで衝立を倒したこともあり、今の状態が良いと思う。(高崎部長)

受付を設けないのか。(佐藤部長)

限られたスペースでもあり入口をオープンにしたいと考えていたが、今までの意見によると、受付を設けスタッフが案内した方がうまく廻ると考えられるので検討していきたい。(清水部長)

去年は配布資料を受付で渡し来場者数をカウントしていた。店舗出入り方向に受付を設けたほうが良いと思う。(浅野理事)

三角コーナーを置いて入口を確保しそこに受付を設置してはどうか。(高崎部長)

受付は設置する方向で検討する。(清水部長)

色々のご意見いただき有難うございます。皆さんの意見を参考に配置図を変更させていただきます。配置図が正式に決まったら各部門長に連絡します。(清水部長)

以上「検査と健康展」の会場設営について本常務理事会で承認を得た。

「検査と健康展」は検査技師の仕事についての説明、そして将来検査技師になりたいと思っている子供たちへの紹介を目的とした技師会活動ですのでご協力をお願いしたい。(兼子議長)

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

会報誌の発行は前回の理事会で報告したとおり2ヶ月に一回のペースで発行していきたいと思う。

第一号は8月に発送した。第2号は10月の発行予定で全国学会をメインテーマにすすめて行きたいと考えている。(高崎部長)

第2号は全国学会をメインテーマとすることで本常務理事会にて承認を得た。

投稿願いは発行月の前月1日より依頼を開始。原稿締め切りは10月5日(水)とする。

その後内容確認と校正を行い発行月の理事会日に承認を得る予定である。(高崎部長)
平成 28 年度第 2 号の記事については

1. IFBLS 2016 (第 32 回世界医学検査学会)・・・学会の紹介 (高崎)、発表を終えて (伊藤・岐阜大学病院)
2. 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会・・・学会の紹介 (高崎)、参加して (牛丸・岐阜大学病院)
3. 第 65 回日本医学検査学会・・・学会の紹介 (高崎)、発表を終えて (鎌田・松波総合病院) (安藤・県総合医療センター)
4. 施設紹介・・・中津川市民病院 (東濃地区・市川理事)、羽島市民病院 (岐阜地区・高木理事) 以上を予定している。(高崎部長)

その他について何か投稿したい内容はありますか。(高崎部長)

全国学会・IFBLS 特集はどうですか。(兼子議長)

わかりました。相談した上で検討いたします。(高崎部長)

以上第 2 号岐臨技会報投稿内容について本常務理事会で承認した。

高崎部長よりホームページバナー広告更新・新規募集についての報告があった。

現在 5 社にバナー広告の更新を依頼している。今のところ岐臨技ホームページは 8 社までバナー登載が可能であるため新規募集として 3 社を追加した。

少し遅れたが趣意書とホームページバナー広告新規申込書を発送した。9 月現在で 2 社 (ラジオメーター (株)・積水メディカル (株)) からバナー広告申込書が届いた。これによって得た広告費 (36,000 円/年) は当ホームページの維持費 (36,000 円/月) に充当する。


以上ホームページバナー広告更新・新規募集について本常務理事会で承認した。


乙訓部長より会計部からの報告があった。

7 月の決算報告書について確認したところ 6 月と比較し、修繕費 95,353 円・製本費 267,800 円 (検査説明と病理細胞部門)。講師謝礼 439,910 円 (生物化学分析部門と病理細胞部門) の支出が増加しているようであった。(乙訓部長)

予算書が遅れて届く場合があります。早めに事務へ報告していただきたい。9 月中に中間決算を行うため月を跨がないようお願いしたい。(兼子議長)

以上 7 月の決算書報告内容について常務理事会で承認した。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 浅野 敦 

議事録署名人 棚村 一彦 